

DX実現のために外部の支援を受ける場合の法律実務知識【会場・オンライン同時開催】

(4122167)

本セミナーでは、法律の基本的な考え方を確認した上で、アジャイル開発、クラウドサービス利用、AI、OSSといったDXを実現するために必要な要素について、法的な知識と留意点を解説します。

開催日時	2022年7月15日(金) 10:00-17:00
カテゴリー	共通業務（契約管理、BCP、コンプライアンス、人的資産管理、人材育成、資産管理）・セキュリティ・システム監査 専門スキル
DXリテラシー	How(データ・技術の活用)：留意点
講師	尾城亮輔 氏 (尾城法律事務所 弁護士) ITストラテジスト、ソフトウェア開発技術者、基本情報処理技術者 経済産業省「AI・データ契約ガイドライン」検討会 作業部会構成員
参加費	J U A S 会員/ITC：33,800円 一般：43,000円（1名様あたり 消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（日本橋堀留町2丁目ビル2階）
対象	民法の請負・委任(準委任)などについて基礎知識がある方 中級
開催形式	講義
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
特記	・お申込み後マイページより受講票をダウンロードして内容をご確認ください。 ・オンラインにてご参加の方も、演習や質疑応答でマイクを利用することがあります。ご発言いただける環境にてご参加ください。
ITCA認定番号	ITCC-CPJU9533
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態

【選べる受講形態】

A. 会場にてご参加：【Co-lab-po（2階会議室）施設利用にあたっての取り組み】

B. オンラインにてご参加：【セミナーのオンライン受講について】

■テキスト

A. 会場にてご参加：当日配布

B. オンラインにてご参加：開催7日前を目途に発送（お申込時に送付先の入力をお願いします）

※開催7日前から開催前日までにお申込の場合、テキストの送付は開催後になることがあります。ご了承ください。

■開催日までの課題事項

特になし

本セミナーでは、法律の基本的な考え方を確認した上で、アジャイル開発、クラウドサービス利用、AI、OSSといったDXを実現するために必要な要素について、法的な知識と留意点を解説します。

◆主な研修内容：

- はじめによくある誤解—以下は正しいですか
 - 要件定義を請負契約で締結することはできる
 - 請負契約では報酬を作業量ベースにすることはできない
 - 準委任契約ではベンダーは必ず報酬を受け取れる
 - 準委任契約では、ベンダーは契約不適合責任（瑕疵担保責任）を負わない

2 アジャイル開発契約の法的問題点と契約条項検討

(1) アジャイル開発の「法的」な分析

- ・ 法的に見た場合のウォーターフォールとの違い
- ・ アジャイル開発契約は請負契約か準委任契約か
- ・ 成果完成型準委任契約とは

(2) アジャイル開発でのトラブルケースの検討

- ・ 想定の中分くらいの機能しか実装できなかった
- ・ 成果物に致命的なバグがある
- ・ 「アジャイルだからドキュメントの作成義務はない」は正しいか

(3) アジャイル開発はベンダーのモラルハザードの温床となるか

- ・ 裁判例の紹介
- ・ トラブルを防止するための契約条件と契約条項例

3 AIをシステムに組み込む場合の法的問題点と契約条項の検討

(1) AIの利用・開発委託契約と従来のシステム利用・開発委託契約との違い

(2) 学習用データセット、学習済みモデルの法的性質と権利帰属

(3) AI開発契約と契約条項検討

(4) AI利用契約と契約条項検討

4 クラウド契約の法的性格と問題点と検討

- ・ クラウド契約の法的な性質－SaaS、PaaS、IaaS
- ・ SLAの法的性格
- ・ 一般的なクラウド契約(約款)の解説
- ・ 「約款」に関する民法のルール
- ・ 交渉の余地がある場合に押さえておきたい事項
- ・ 預けたデータについての措置についての留意点
- ・ システムの開発を委託した場合、その基盤としてクラウドを利用した場合の法律関係と留意点
- ・ すべての情報をクラウド上に置いた場合の証拠保全上の問題点

5 OSS（オープンソースソフトウェア）とライセンス契約の法的問題点と契約条項検討

(1) 著作権法の基礎知識

(2) OSSとは

(3) OSSの分類/代表的なライセンスの内容の解説

(4) OSSに関する法的リスク

(5) 開発にOSSを使用する場合の問題点とベンダーとの開発契約の条項検討

<参加者の声>

- ・ 勤所にリアリティがあり、わかりやすい説明だった。
- ・ OSSの説明について、それぞれの代表例がとても分かりやすかった。